

対象教科・科目	単位数	対象学科・学年・クラス	備考
地理歴史 世界史A	2単位	英語科 3年 1クラス	選択必修科目

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	国・地域・民族の成立過程を学習する中で異文化理解や権利の大切さを考え国際平和に貢献できる能力の育成を図る。
使用教科書	明解 世界史A (帝国世A314)
副教材等	地歴高等地図 (帝国地図 011) 明解世界史図説エスカリエ

2 学習計画

学期	学習項目	学習の具体的内容
1 学期	第1章ヨーロッパ世界 ①ヨーロッパの風土と人々 ②ヨーロッパの源流 ③祈る人・戦う人・働く人 ④都市の発達	ヨーロッパの風土と諸民族、ギリシャ・ローマ文明の特質を理解する。 キリスト教の発展による精神世界を理解する。 封建社会を理解する。 教会を中心とした中世都市の役割を理解する。
	第2章大航海時代のヨーロッパ ①ヨーロッパのめざめ ②大航海時代のヨーロッパ ③ヨーロッパのアジア交易	ルネサンスと宗教改革の意義を理解する。 ヨーロッパ人の海外進出と諸地域の動向を理解する。 文化の交流と問題点を理解する。
	第3章ヨーロッパとアメリカの諸革命 ①アメリカの独立 ②イギリスとフランスの革命 ③ウィーン体制 ④資本主義の発達と社会主義	アメリカの独立革命の経緯と意義を理解する。 革命の意義と基本的人権の保障を理解する。 ナポレオンのもたらした功罪を理解する。 労働問題と市民生活の変化を考える。
	第4章自由主義とナショナリズムの進展 ①世界の工場イギリス ②列強の世界進出・植民地の拡大 ③南北戦争と戦後	産業革命の進展により国際的分業体制が進み世界市場が成立したことを理解する。 アメリカの発展と移民の役割を理解する。 後世に残された諸問題を考える。
2 学期	第5章アジア世界とイスラーム ①アジアの風土と人々 ②中国・インドの発展 ③イスラーム帝国の栄光と分裂	アジアの自然環境と民族の特質を理解する。 漢民族と遊牧騎馬民族の確執、仏教・ヒンズー教の成立、多様な言語からなる社会が形成されて言語から構成される社会の成立過程を理解する。 イスラームが成立していく過程とそこで生まれた政治経済を理解する。 文化などイスラームの特色を理解する。
	第6章アジアの発展と動揺 ①元・明・清の繁栄 ②ヨーロッパ諸国のアジア進出 ③中国・日本の近代化 ④帝国主義とアジア ⑤日清・日露戦争と朝鮮半島	成熟した中国の繁栄と周辺諸国への影響を理解する。 ヨーロッパ諸国による植民地政策の影響を理解する。 ヨーロッパ諸国のアジア進出で激変した政治経済の再構築を迫られた中国と日本の対応を考える。 軍事大国化を図る日本と中国・朝鮮の対立をその問題点と共に理解する。
	第7章第一次世界大戦がもたらしたもの ①ドイツの挑戦とバルカン半島 ②第一次世界大戦 ③ヴェルサイユ体制 ④アメリカの繁栄と列強 ⑤インド・中東の民族運動 ⑥東アジアの民族運動	第一次世界大戦の原因と性格を理解する。 戦争がもたらした世界の変化とロシア革命の意義を理解する。 戦争と革命が20世紀の大変動の起点となったことを理解し、その中でアメリカの政治経済が強大になっていくことを知る。 その中でアメリカの国力が強大になっていく過程を知る。 アジア諸国の抵抗、民族意識の形成などを理解する。 民族自決を求めたアジアのナショナリズムの動きを理解する。
3 学期	第8章経済危機から第二次世界大戦へ ①世界恐慌とファシズムの台頭 ②日中戦争 ③ヒトラーと第二次世界大戦 ④民族差別	世界恐慌が国際秩序に危機をもたらした国際秩序を生みだし、全体主義の伸長の中で日本の歩んだ道を理解する。 全体主義の伸長の中で日本が歩んだ道を理解する。 ナチスドイツの全体主義がなぜ台頭したのか、第二次世界大戦の経緯と共に理解する。 またユダヤ民族に対する差別の実態を知る。
	第9章冷戦の時代 ①対立する東西陣営 ②中東戦争 ③アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ④超大国アメリカと第三世界 ⑤日本をとりまくアジアの動き	米ソを中心とした両陣営の対立やアジア・アフリカ諸地域で見られた民族独立運動の展開を理解する。 核兵器問題と社会主義の変容を理解する。 アメリカに対する反発が中東を中心に出現していること。 東アジア・東南アジアの協調体制の中、北朝鮮問題など課題が多くあることを理解する。

3 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容	評価方法
関心・意欲・態度	歴史は人間の成功と失敗の繰り返しである。単に暗記だけではなく成功の中にある努力と苦悩、失敗を生む原因を考え、よりよい未来の実現ために生かす姿勢を維持しているかを見る。
思考・判断・表現	発表を通じ学習内容の理解度を見ると共に、友人の発表内容を聞くことで思考力、判断力の広がりを見る。
技能	世界の歴史についての資料を収集し、必要な情報を選択して活用できるか。また、それらをもとに考察した結果を適切に表現できるか。
知識・理解	提出物や定期考査の内容により判断する。